

問一

傍線部あ、いの本文における意味を次の中から一つずつ選べ。

あ すずろに 一、嬉しく 二、さびしく 三、少し 四、肌寒く 五、なんとなく

「すずろなり」 ↑重要単語！覚えよう！

- ① なんとなく
- ② 思いがけない
- ③ 無関係だ
- ④ むやみやたらだ

【答え 五】

い あてに 一、高貴で 二、やたらと 三、一段と 四、慕わしく 五、憎らしいほど

「あてなり（＝貴なり）」 ↑重要単語！

高貴だ 家柄が高い

【答え 一】

問二

傍線部ア、ウの本文中における意味を書け。

ア あなかま

「あな」＝ああ 「かま」＝「かまし」、「かしがまし」などと同義で「やかましい」

↓「ああ、やかましい」から「しっ、静かに」

【答え しっ（、静かに）】

イ なやむ

重要単語。「なやむ」＝病気を患う。

わからなくても、前後の文脈から導いてほしい。

【答え 具合が悪い、病気な】

ウ など

これは基本的単語。もちろん重要単語！＝どうして、なぜ

これも下に「…と問へば…」とあることから導きたい。

【答え どうして、なぜ】

問三

傍線部うの文法的説明として適当なものを次の選択肢から選べ。

「来つらむ方も見えずに」

- 1, 動詞「来」の連用形＋完了助動詞「つ」の未然形＋推量「む」の連体形
- 2, 動詞「来」の連用形＋完了助動詞「つ」の終止形＋現在推量「らむ」の連体形
- 3, 動詞「来」の終止形＋強意の助詞「つ」＋動詞「あり」の未然形＋推量助動詞「む」の連体形

4. 動詞「来」の終止形+強意の助詞「つ」+現在推量「らむ」の連体形

「来」+「つ」+「らむ」

「つ」は「完了の助動詞」

また、接続は連用形

「らむ」は「現在推量」ただ、ここは「現在の婉曲（ゝのような）」の方が訳的にはしっくり来るが

また、接続は終止形

「らむ」の識別

① 現在推量の「らむ」：接続は「終止形」

② 完了・存続助動詞「り」の未然形+推量の助動詞「む」：「り」の接続は「已然形」

「接続」で識別しよう！ただ、②は滅多にお目にかかることはないぞ

訳は「やって来ている（ような）方角もわからないが」

【 答え 2 】

問四

傍線部①～②の主語として最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ選べ。

一、乳母 二、侍従の大納言 三、侍従の大納言の娘 四、姉 五、猫 六、下衆 七、筆者

一、「思い出で（＝思い出す）」について

これは難易度が高い。

前後の文を見れば、主語は明らかに「中の君」であるとはわかるが：何と選択肢に「中の君」がない！

したがって、「中の君」が誰なのかを把握する必要がある

まず、状況を把握しよう

・ 姉の会話文内

・ 姉の夢の中で、猫が出てきて姉に話しかけている

・ 猫は：

「自分は侍従の大納言の娘の化身である。前世からの縁が少しあって、中の君が『何となくしみじみと物悲しい』と、死んだ私（＝侍従の大納言の娘）を思い出してくださっているのだ：」

…と言っている。

さあ、「すずろにあはれなり（＝何となくしみじみ物悲しい）」と思い出してくださっている「中の君」とは誰か？

冒頭部分に同じように「すずろにあはれなるに」と記載がある

この主語は誰だろうか？

この文章が日記であることを考えると：本人であると考えるのが妥当だろう

【 答え 七 】

一、「ある」について

一の解説の中にある猫の会話

「自分は侍従の大納言の娘の化身である。前世からの縁が少しあって、中の君が『何となくしみじみと物悲しい』と思っ

【答え 五】

問五 傍線部え、おを現代語訳せよ。

え 尋ねる人やある

「や」は係助詞。意味は「疑問か反語」
どちらがふさわしいか、文脈で判断

疑問と反語では意味が真逆だからわかりやすい！

反語とは：

強調表現。ことばの逆の内容を強調して言い切る。

例 ラーメンがめちゃくちゃ好きであるとする

あまりに好きすぎて「みんな好きなのではないか」と考える

反語表現↓「ラーメンを嫌いな人、いる？」と、反語は疑問文の形を取って表される。

しかし、伝えたい内容は、「ラーメンを嫌いな人はいない」ということ

「ことばの表現とは真逆を強調して伝える」ときに使う文法

よって、「疑問と反語」を見分けたいときは：

・単純に疑問なら「疑問文」

・そのことばの真逆を強調して伝えているなら「反語」

当問題は「尋ねる人やある」

(猫のことを)「尋ねて来る人はいるだろうか」がよいか、それとも「尋ねて来る人なんかいるわけがない」が適切か…その後の文章で、猫を「隠して飼った」と言っているそこから考えれば…

「反語」が合わない。よって「疑問」が妥当である。

【 答え 猫のことを探している (尋ねてくる) 人はいるであろうか。】

採点基準…「猫」が書いて二点。疑問文になっていて四点

お 「おどろきたれば」

「おどろく」は重要単語！

①ハッと気が付く ②ハッと驚く ③ハッと目覚める

姉は寝ていたことから…③が該当！

「たり」は完了・存続の助動詞

動詞が「動作を表す動詞」の場合は「完了」が適当

「おどろく」は動作…よって完了

「(已然形) +ば」は、順接の確定条件

① ~なので ② ~すると ③ ~したところ

目が覚めたら、猫の声だとわかった、ことから…③が該当！

【 答え 目が覚めてみると 】

採点基準…「おどろく」の訳ができて三点。「完了」の訳ができて一点。「~したところ」の訳ができていて二点。

問六

筆者が、傍線部か のように考えた理由を簡潔に書け。

お「この猫を北面にも出ださず思ひかしづく」

訳…この後は、この猫を北面(≡召使たちの部屋がある北側の部屋)に置くことなく、大切に
思い、世話をした。

ここまでの状況を再確認しよう

・姉の夢に猫が出てきた。

・猫は…

「私は侍従の大納言の娘の化身である。

中の君が、死んだ私を悲しんで思い出してくれているからここにいる。

最近は下衆の者(≡召使たち)の間(≡北面)にいて、とても寂しい」と言ってひどく泣いて
いる。

・姉は、その様子を見て「高貴な人だなあ」と感じながら目が覚めた。

・するとその声がこの猫の声であると気付いた。

・姉がその話をしているのを聞いて、筆者は胸を打たれた。

・その後、猫を北面に出さず、大切に世話をした。

これらを簡潔にまとめよう

【 答え 姉が夢の中で見た、この猫が侍従の大納言の娘の化身である、ということを感じている姉の話を聞いて、胸を打たれたから。 】

採点基準…「姉が夢で見た」が書けていて、三点。

「夢の中の出来事を姉が信じている」が書けていて二点。

「姉の話を私が聞いて胸を打たれた」同じような内容が書けていて三点。

まとまった文章になっている(意味がきちんと理解できる)ができて、一点。
簡潔にまとめている(長すぎない)ができて一点。

問七

本文は「更級日記」である。本作品より前の年代に成立した作品を次の中から一つ選べ。
一、とりかへばや物語 二、伊勢物語 三、大鏡 四、今昔物語集 五、宇治拾遺物語

「更級日記」は平安時代中期成立の日記である。

一、「とりかへばや物語」は、平安時代後期成立の物語

二、「伊勢物語」は、平安時代初期成立の歌物語

- 三、「大鏡」は、平安時代後期成立の歴史物語
- 四、「今昔物語」は、平安時代末期の説話集
- 五、「宇治拾遺物語」は、平安時代末期の説話集

【答え 二】